

第1回 安房地区地域協議会 次第

日 時 令和5年1月6日（金）

14時から

場 所 菜の花ホール 第1・第2集会室

- 1 開 会
- 2 委員紹介
- 3 教育委員会挨拶
- 4 座長選出
- 5 議 事
 - (1) 地域協議会設置の趣旨
 - (2) 「県立高校改革推進プラン」及び「第1次実施プログラム」について
 - (3) 安房地区の県立高校の現状と課題
 - (4) 質疑
 - (5) その他
- 6 報告・連絡
- 7 閉 会

【資料】

- 資料1 安房地区地域協議会 委員名簿
- 資料2 安房地区地域協議会 設置要綱
- 資料3 「県立高校改革推進プラン」及び「第1次実施プログラム」について
- 資料4 安房地区地域協議会 基礎資料
 - 第1回出席者名簿
 - 第1回座席表

【参考】

- 1 第3期千葉県教育振興基本計画
次世代へ光り輝く「教育立県ちば」プラン（概要版）
- 2 県立高校改革推進プラン（本冊子及び要約版）
- 3 県立高校改革推進プラン・第1次実施プログラム（本冊子及び要約版）
- 4 県立学校改革推進プラン及び第1次～第4次実施プログラム（要約版）
- 5 公立高等学校所在図（令和4年4月）
- 6 千葉県高等学校所在図（令和4年4月）
- 7 令和5年度隣接県公立高等学校入学志願者取扱協定 概要

安房地区地域協議会 委員名簿

50音順、敬称略

氏 名	所 属
池田 美香	合同会社ファームイケダ 代表
石井 浩己	県立安房高等学校 校長
小澤 幹夫	南房総市総務部企画財政課 課長
工藤 司	鋸南町教育委員会教育課 主任指導主事
熊澤 洋介	千葉県安房西高等学校 校長
庄司 憲弘	館山市教育委員会教育部教育総務課 教育推進室長
関口 和則	鴨川市教育委員会学校教育課 課長
滝口 俊孝	鴨川市企画総務部企画政策課 課長
戸田 誠	安房地区PTA連絡協議会 会長
野田 純	鴨川市住民
袴田 晃宏	南房総市立富山中学校 校長
廣部 泰紀	聖徳大学教職大学院教職研究科・教育学部教育学科 教授
宮澤 知幸	館山市総合政策部企画課 課長
八代 健正	NPO法人おせっ会 代表理事
安田 道明	南房総市教育委員会 参事
渡邊 弘仁	南房総教育事務所 次長

資料 2

安房地区地域協議会設置要綱

(目 的)

第1条 県立高校改革推進プランを踏まえ、地域における今後の学校の在り方などについて意見を聴くため、地域協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

なお、協議会は、安房地区（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）における今後の学校の在り方などについての意見聴取を目的とするものであることから、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではない。

(構 成)

第2条 協議会は、委員15名程度で組織する。

2 委員は、原則として以下に掲げる者とする。

(1) 学識経験者

(2) 地域関係者

(3) 私学関係者

(4) 教育関係者

(5) その他千葉県教育委員会教育長（以下、「教育長」という。）が必要と認めた者

3 委員の任期は、令和5年3月31日までとする。

(運 営)

第3条 協議会に座長を置く。

2 座長は、委員の互選により定める。

3 座長は、協議会の進行を行う。

4 座長に事故あるとき、又は欠けたときは、座長が指名した者が、その職務を代理する。

5 協議会は、必要に応じて教育長が招集する。

(庶 務)

第4条 協議会に係る庶務は、千葉県教育庁企画管理部教育政策課（以下、「教育政策課」という。）が行う。

(その他)

第5条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、教育政策課が別に定める。

附 則

この要綱は、令和4年11月14日から施行する。

**第 1 回
安房地区地域協議会**

**「県立高校改革推進プラン」及び
「第 1 次実施プログラム」について**

令和 5 年 1 月 6 日 (金) 14:00～
館山市中央地区学習供用施設「菜の花ホール」

 みんなで取り組む
千葉の教育 **千葉県教育庁企画管理部
教育政策課高校改革推進室**

I これまでの高校再編について

1 再編の経緯

「県立高等学校再編計画」 (平成 14 年 1 月 1 日策定) 「県立学校改革推進プラン」 (平成 24 年 3 月策定)

目標年次 平成 14 年度～23 年度 目標年次 平成 24 年度～令和 3 年度



県立高等学校再編計画



県立学校改革推進プラン

学科設置や統合等の再編中心 コースなどの魅力づくりが中心

2 計画の性格

- ・ 具体計画は、**実施プログラム**により実施
- ・ 必要に応じた見直しを考慮

「県立高等学校再編計画」 「県立学校改革推進プラン」



県立高等学校再編計画



県立学校改革推進プラン

第 1 期実施プログラム: H14.11 策定
第 2 期実施プログラム: H16. 5 策定
第 3 期実施プログラム: H18.12 策定

第 1 次実施プログラム: H24.3 策定
第 2 次実施プログラム: H26.3 策定
第 3 次実施プログラム: H28.3 策定
第 4 次実施プログラム: H30.3 策定

一部改訂
H30.3 策定

3 「県立学校改革推進プラン」

実施プログラムの主な内容

- 魅力ある高等学校づくり
 - ・ 社会のニーズに対応したコースの設置
教員基礎コース(4校) **保育基礎コース**(2校)
 - 医療・福祉系コース**(8校) **工業系コース**(2校) 等
 - ・ **理数科**の設置(2校)
 - ・ **連携組織(コンソーシアム)**の設置(工業、農業)
 - ・ **総合学科**の設置(全日 2 校、定時 1 校)
 - ・ **中高一貫教育校**の設置(1 校)
 - ・ **地域連携アクティブスクール**の設置(4 校)
- 適正規模・適正配置
 - ・ **全日制 3 組統合**(125 校 → 121 校)
 - ・ **三部制定時制高校**の設置(1 校)



II 「県立高校改革推進プラン」について



令和 3 年 6 月～令和 4 年 1 月
次期プラン策定懇談会開催
令和 3 年 9 月～10 月
地域協議会を 5 か所で開催
令和 3 年 12 月～1 月
パブリックコメント実施

↓

**令和 4 年 3 月
県立高校改革推進プラン策定**

今後 10 年間の県立高校改革に関する基本的な考え方を示す

1 県立高等学校の現状と課題

(1) 生徒のニーズの多様化

- 高校進学率 **98.9%**
- 経済的、社会的に **様々な困難を抱えた生徒**の増加
- **日本語指導が必要な生徒**の増加

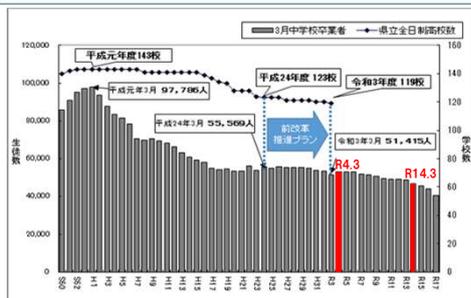
(2) キャリア教育・職業教育の充実

- 高校卒業後の進路内訳
 - ・ 進学…約 **74%** (大学、専門学校等)
 - ・ 就職…約 **17%** (およそ 5,500 人)
- **農業、工業、水産、介護、保育分野等でさらなる担い手の育成が必要**



(3) 人口の減少

○中卒者数が10年後には現在より**約6,200人減少**



《本県の中学校卒業生数及び県立全日制高校校数の推移》

2 4つの計画実施上の重点事項

- (1) 全ての高校の魅力化と学びの改革
 - ・**スクールポリシー**を基点に推進
- (2) キャリア教育と職業教育の充実
 - ・**高校が小・中学校のキャリア教育を支援**
→ 職業系専門学科への理解を深める
 - ・**時代や社会が求める人材**の育成
- (3) 学校間連携
 - ・学校、学科の垣根を越えた連携を推進
- (4) 戦略的な広報
 - ・**小・中学校等との連携**を視野に展開

3 4つの基本的コンセプト (目指すべき県立高等学校像)

- (1) 予測困難な時代の中で、生徒が主役となり、**未来を切り拓く力を育む学校**
- (2) 各校の特色化を進め、生徒・教職員が生き生きと活動して、**「自信」を育む学校**
- (3) 一人一人の可能性を広げ、地域から世界まで**様々な舞台で活躍できる生徒を育てる学校**
- (4) 身近な課題を探究するなど、地域との絆を深め、**地域とともに発展する学校**

4 8つの改革の方向性

- (1) 学習意欲を喚起し、**可能性や能力を最大限に伸長する学び**への転換
- (2) Society5.0※に対応した**新時代に求められる探究的な学び**の推進
 - ※ 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会
- (3) 普通科を含めた全生徒の**キャリア教育と職業教育**の充実
- (4) 共生社会の実現や**多様な学習ニーズに対応した教育**の推進

4 8つの改革の方向性

- (5) スクール・ポリシー※に基づく**各校の魅力化・特色化と効果的な学校運営**の推進
 - ※ 各学校における教育活動の指針となる3つの方針
 - ・育成をめざす資質・能力に関する方針
 - ・教育課程に関する方針
 - ・入学者の受け入れに関する方針
- (6) 生徒が生き生きと学ぶことができる**教育環境の整備**
- (7) **地域や企業、教育機関等と連携・協働し**、身近な課題解決を考える学びなどの充実
- (8) **地域の特性に配慮し**、地域の振興に寄与する**高校の在り方や適正配置**の検討

5 魅力ある県立高校づくりの推進

【キャリア教育の推進】

- **求められる人材の育成に向けたコース**の拡充・設置
→ 医師・教員・保育士・介護従事者等
- **理数教育拠点校**の設置
- 時代のニーズを踏まえた新たなコースや学び
→ **農業経営者の育成**など
- **工業系コンソーシアム**の活性化
- **起業家精神を有する人材**の育成
- **福祉人材育成のためコンソーシアム**を設置

プランの
ポイント

【総合学科】

- 新たに5校程度に設置
 - ・ **STEAM教育**※の導入
 - ・ 幅広い学びのニーズに対応した魅力ある系列
 - ※ 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、アート (Art)、数学 (Mathematics) の5つの領域を対象とした教科等横断的な学習

【社会のニーズに対応した教育】

- **単位制高校**※を3校程度拡充
 - ・ 進学指導重点校などに**大規模な単位制高校**の設置
 - ※ 学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高校
- **地域連携アクティブスクール**を4校程度拡充
 - ・ 学び直しや実践的なキャリア教育の推進

プランのポイント

6 県立高校の適正規模・適正配置

都市部
(第1学区～第3学区)

郡部
(第4学区～第9学区)

○適正規模

都市部：1学年あたり**6～8**学級
郡部：1学年あたり**4～8**学級

○適正配置

今後10年で中学校卒業生数が**約6,200人**減少
→ 活力ある教育活動の維持のため**10組程度**の統合を予定

都市部：**多様な学び**への変換
新たなタイプの学校への再編

郡部：**学校・地域の状況等に配慮**して検討

プランのポイント

【パブリックコメントの主な意見】

一定程度の規模は**不可欠**である

郡部については、**地域との十分な話し合い**が必要
過疎地域の特例について検討してほしい

Ⅲ 『第1次実施プログラム』について

令和4年10月
第1次実施プログラムを策定

- ・ 県立高校改革推進プランの**具体計画**
- ・ **12の再編項目**について**18校**が対象
- ・ **今後の統合の考え方**を示す

第1次実施プログラム

1 既存のコース等の設置拡充概要

(1) 教員基礎コース	国府台・成東・大多喜
(2) 保育基礎コース	鎌ヶ谷西・土気
(3) 医療系コース	小見川
(4) グローバルスクール	松戸国際
(5) 福祉コース	船橋豊富
(6) 総合学科	匠瑤
(7) 地域連携アクティブスクール	行徳・市原
(8) 通信制協力校	銚子商業

第1次
実施プログラム
概要

2 新たな学びの導入

- (1) **農業経営者育成に関するコース**
茂原樟陽
- (2) **起業家育成に関するコース**
千葉商業
- (3) **観光に関するコース**
一宮商業
- (4) **先端ITコース(仮称)**
袖ヶ浦

第1次
実施プログラム
概要

3 連携の推進

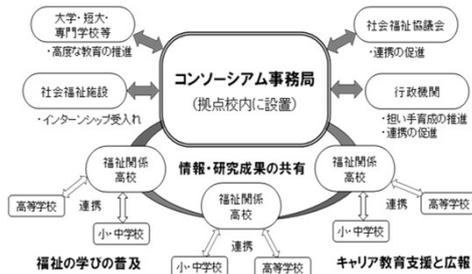
(1) **理数教育拠点校**



第1次
実施プログラム
概要

3 連携の推進

(2) **福祉系コンソーシアム設置** 松戸向陽



第1次
実施プログラム
概要

4 適正規模・適正配置

今後の**統合**の基本的な考え方

【都市部】

- **適正規模未満**の学校
- **将来適正規模の維持が困難**となることが見込まれる学校
- **同じタイプの学校が近接**

適正配置を考慮しながら規模を最適化
特色や個性を持った、より魅力ある学校に再編

第1次
実施プログラム
概要

4 適正規模・適正配置

【郡部】

通学の利便性、地元からの進学状況を踏まえ

地域連携協働校を指定

- 学校運営協議会制度（**コミュニティ・スクール**）を導入
- 必要に応じて**近隣の高校を協力校に指定**することも検討
… ICTを活用した授業、学校行事や部活動の合同実施

地域連携協働校に指定された高校も含め、**生徒募集において著しく困難が生じる場合は、統合も検討**

IV 今後の予定

○ **再編対象校**

- ・各校において**校内準備組織**を設置
→プログラム実現に向けた準備を開始
- ・県民への周知、PR

「第1次実施プログラム」の推進

○ **全県立高校**

- ・プラン及びスクール・ポリシーに基づき
魅力ある県立高校づくりを推進

○ **適正規模・適正配置について**

- ・**県内各地域で地域協議会を順次設置**
→地域における県立高校の在り方について意見聴取

「第2次実施プログラム」以降の検討

安房地区地域協議会

【基礎資料】

1 安房地区の県立高校4校の現状.....	2
(1) 地区における学校所在地.....	2
(2) 県立高校4校について	3
ア 概要（全日制）	3
イ 概要（定時制）	5
ウ 概要（通信制協力校及び専攻科）	6
エ 沿革.....	7
オ 募集学級数の推移.....	9
(3) 入試の状況.....	9
(4) 進路の状況.....	10
2 安房地区の現状と今後の見通し.....	10
(1) 地区の中学校卒業者の進路状況等	10
ア 地区の公立中学校卒業者と、第8学区の県立高校全日制への進学者数の推移 ..	10
イ 地区内の公立中学校別卒業者（令和4年3月）	11
ウ 自治体別 公立中学校卒業者の進路先	11
①館山市.....	11
②鴨川市.....	12
③南房総市	12
④鋸南町.....	13
⑤地区全体	13
エ 生徒の流出入状況（令和4年3月 国公立中学校卒業者）	14
(2) 地区の国公立中学校卒業者数の推移と見通し	15

※掲載しているデータは、特別な記載がない限り令和4年度のデータである。

また、確定値ではない場合がある。

1 安房地区の県立高校4校の現状

(1) 地区における学校所在地

● 県立高校 長狭[全定併設]、安房拓心、安房、館山総合[全定併設]

▲ 私立高校 千葉県安房西、鴨川令徳[全通併設]



(2) 県立高校4校について

ア 概要 (全日制)

学校名	長狭	安房拓心	
所在地	鴨川市横渚 100	南房総市和田町海登 1604	
交通手段	J R外房線安房鴨川駅 徒歩 15 分	JR 内房線南三原駅 徒歩 10 分	
設置年度	大正 11 年	大正 11 年	
学年別 学科・学級数	普通 4,4,4	総合 4,4,4	
R4全校生徒数	383 (178 . 205)	401 (249 . 152)	
1 学年(男.女)	108 (50 . 58)	129 (78 . 51)	
2 学年(男.女)	149 (70 . 79)	153 (87 . 66)	
3 学年(男.女)	126 (58 . 68)	119 (84 . 35)	
居住市町村別 生徒数(割合)	鴨川市 205 (53.5%) 南房総市 83 (21.7%) 館山市 70 (18.3%) 勝浦市 16 (4.2%) 鋸南町 5 (1.3%)	南房総市 144 (35.9%) 館山市 133 (33.2%) 鴨川市 103 (25.7%) 鋸南町 14 (3.5%) 君津市 4 (1.0%)	
第 8 学区 生徒数(割合)	363 (94.8%)	394 (98.3%)	
部活動数 加入率	運動部 176 文化部 126 加入率78.9%	運動部 241 文化部 56 加入率 74.1%	
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち4年大)	63 (45.3%)	9 (6.3%)
	専修学校	53 (38.1%)	8 (5.6%)
	職業能力校	42 (30.2%)	39 (27.3%)
	就職	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	その他	29 (20.9%)	93 (65.0%)
教職員数 (本務者)	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 31 名 養護教諭 1 名 実習助手 1 名 事務職員 3 名 技能員等 1 名	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 36 名 養護教諭 1 名 実習助手 7 名 事務職員 4 名 技能員等 1 名	
	合計 39 名	合計 51 名	
校地面積	敷地全体 52,730	敷地全体 141,489	
	保有建物 20,929	保有建物 58,492	
	保有運動場 31,801	保有運動場 22,086	
	実習地他 0	実習地他 60,911	
	借用地 0	借用地 0	
再編歴	H24-コミュニティ・スクールに指定 H26-医療・福祉コース設置	H17-総合学科を設置	

学校名	安房	館山総合	
所在地	館山市八幡 385	館山市北条 106	
交通手段	JR 内房線館山駅 徒歩 10 分	JR 内房線館山駅 徒歩 20 分	
設置年度	平成 20 年統合	平成 20 年統合	
学年別 学科・学級数	普通 6,6,6	工業 1,1,1 商業 1,1,1 海洋 1,1,2 家政 1,1,1	
R4全校生徒数	707 (358 . 349)	267 (145 . 122)	
1 学年(男.女)	240 (121 . 119)	83 (44 . 39)	
2 学年(男.女)	240 (110 . 130)	95 (58 . 37)	
3 学年(男.女)	227 (127 . 100)	89 (43 . 46)	
居住市町村別 生徒数(割合)	館山市 358 (50.6%) 南房総市 208 (29.4%) 鴨川市 90 (12.7%) 鋸南町 26 (3.7%) 富津市 10 (1.4%)	館山市 170 (63.7%) 南房総市 62 (23.2%) 鴨川市 13 (4.9%) 鋸南町 9 (3.4%) 富津市 5 (1.9%)	
第 8 学区 生徒数(割合)	682 (96.5%)	254 (95.1%)	
部活動数 加入率	運動部 426 文化部 202 加入率88.8%	運動部 108 文化部 96 加入率 76.4%	
進路状況 (R4.3)	大学進学 (うち4年大)	161 (71.9%) 153 (68.3%)	16 (15.2%) 10 (9.5%)
	専修学校	32 (14.3%)	25 (23.8%)
	職業能力校	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	就職	19 (8.5%)	60 (57.1%)
	その他	12 (5.4%)	4 (3.8%)
教職員数 (本務者)	校長 1 名 教頭 1 名 教諭等 50 名 養護教諭 1 名 実習助手 1 名 事務職員 4 名 技能員等 1 名	校長 1 名 教頭 2 名 教諭等 49 名 養護教諭 2 名 実習助手 9 名 事務職員 6 名 技能員等 21 名	
	合計 59 名	合計 90 名	
校地面積	敷地全体 141,006	敷地全体 90,491	
	保有建物 62,905	保有建物 43,008	
	保有運動場 38,201	保有運動場 40,993	
	実習地他 39,900	実習地他 0	
	借用地 0	借用地 6,490	
再編歴	H20-安房と安房南統合、共学化 H26-教員基礎コース設置 H30-単位制導入	H20-館山と安房水産統合 H20-総合技術高校へ H27-観光の学び導入 H27-海洋科栽培コースを栽培環境コースへ H29-通信制協力校に指定	

イ 概要（定時制）

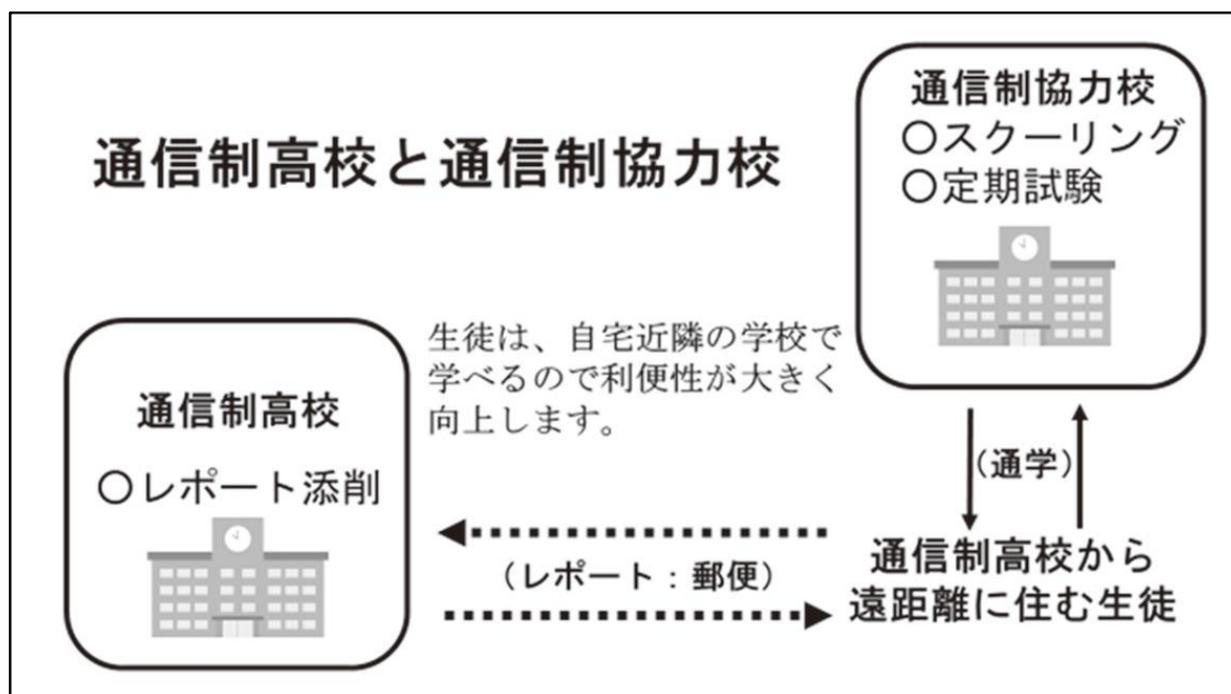
学校名	長狭	館山総合	
所在地	鴨川市横渚 100	館山市北条 106	
交通手段	JR 外房線安房鴨川駅 徒歩 15 分	JR 内房線館山駅 徒歩 20 分	
設置年度	昭和 23 年	昭和 23 年	
学年別 学科・学級数	普通 1,1,1,1	普通 1,1,1,1	
R4全校生徒数	11 (6 . 5)	16 (8 . 8)	
1 年次(男:女)	2 (2 . 0)	4 (3 . 1)	
2 年次(男:女)	3 (1 . 2)	2 (0 . 2)	
3 年次(男:女)	2 (2 . 0)	7 (2 . 5)	
4 年次(男:女)	4 (1 . 3)	3 (3 . 0)	
居住市町村別 生徒数(割合)	鴨川市 11 (100%)	南房総市 11 (68.8%) 館山市 3 (18.8%) 鋸南・鴨川 各 1 (各 6.3%)	
第 8 学区 生徒数(割合)	11 (100.0%)	16 (100.0%)	
部活動数 加入率	運動部 9 文化部 0 加入率81.8%	運動部 0 文化部 0 加入率 0%	
進路状況 (R4.3)	大学進学	1 (12.5%)	0 (0.0%)
	(うち4年大)	1 (12.5%)	0 (0.0%)
	専修学校	2 (25.0%)	0 (0.0%)
	職業能力校	0 (0.0%)	0 (0.0%)
	就職	2 (25.0%)	7 (87.5%)
その他	3 (37.5%)	1 (12.5%)	
教職員数 (本務者)	教頭 1 名 教諭等 7 名 養護教諭 1 名 事務職員 1 名	教頭 1 名 教諭等 10 名 養護教諭 1 名 事務職員 1 名	
	合計 10 名	合計 13 名	
校地面積	敷地全体 52,730	敷地全体 90,491	
	保有建物 20,929	保有建物 43,008	
	保有運動場 31,801	保有運動場 40,993	
	実習地他 0	実習地他 0	
	借用地 0	借用地 6,490	
再編歴		H29-通信制協力校に指定	

ウ 概要（通信制協力校及び専攻科）

学校名	館山総合(通信制協力校)	館山総合(専攻科)
所在地	館山市北条 106	
交通手段	JR 内房線館山駅 徒歩 20 分	
指定・設置年度	平成 29 年度指定	昭和 27 年度(旧県立安房水産)
学年別 学科・学級数		
R4全校生徒数	13 (5 . 8)	合計 8 (6 . 2)
1 年次(男.女)	8 (3 . 5)	1 年次 4 (2 . 2)
2 年次(男.女)	4 (2 . 2)	2 年次 4 (4 . 0)
3 年次(男.女)	1 (0 . 1)	コース 漁業 機関
居住市町村別 生徒数(割合)	南房総市 6 (46.2%)	館山市 2 (25.0%)
	館山市 3 (23.1%)	船橋、成田
	鴨川 2 (15.4%)	白井、鴨川 各 1 (各 12.5%)
	鋸南 2 (15.4%)	君津
		埼玉 1 (12.5%)
第 8 学区 生徒数(割合)	13 (100.0%)	3 (37.5%)

※ 通信制協力校

通信制高校で学ぶ生徒の学習の利便性を図るための制度です。通信制高校から遠距離にある高校を通信制協力校に指定し、生徒がそこで面接指導（スクーリング）や定期試験を受けることができます。



出典：「県立高校改革推進プラン」より

エ 沿革

長狭			安房拓心		
大 11	3. 31	鴨川町他長狭地方 10 か町村の組合立として長狭中学校設立認可	大 11	2. 15	安房郡立千葉県安房農業水産学校として創立が許可される
昭 3	4. 1	県に移管、県立長狭中学校と改称	大 12	4. 27	千葉県立安房農学校と改称
昭 4	2. 4	校歌制定	昭 23	4. 1	学制改革により千葉県立安房農業高等学校と改称。農業科、畜産科、および女子農業科を設置
昭 23	4. 1	学制改革により県立長狭高等学校と改称。定時制の課程(昼間)設置認可	昭 24	4. 1	制度改正により、農業科、畜産科および女子農業科をそれぞれ農業課程、畜産課程、農村家庭課程と変更
昭 24	2. 25	吉尾分校定時制の課程普通科(昼間)の設置認可	昭 26	4. 1	園芸課程の新設、4 課程となる。
	4. 18	吉尾分校開校式及び入学式举行	昭 31	3	農業課程・畜産課程・園芸課程・農村家庭課程を農業科・畜産科・園芸科・農村家庭科へ
昭 25	4. 1	本校定時制の課程を夜間とする	昭 37	4. 1	千葉県立安房高等学校平群分校(定時制課程)本校に所属変更
昭 38	4. 1	吉尾分校を本校に統合	昭 38	4	農村家庭科を生活科と改正 千葉県立安房高等学校鋸南校舎(全日制農業科)の閉鎖にともない在籍生徒は本校に編入
昭 47	11. 16	創立 50 周年記念式典	昭 43	3. 31	千葉県立安房農業高等学校平群分校の閉鎖にともない在籍生徒は本校に編入
昭 62	8. 25	PTA 活動文部大臣表彰	昭 48	4. 1	農業工学科新設
平 5	6. 2	創立 70 周年記念式典	昭 50	2. 5	創立 50 周年記念式典举行
平 9	11. 4	千葉県学校教育功労者(団体の部)表彰	昭 58	11. 24	創立 60 周年記念式典举行
平 10	8. 28	第 48 回全国高等学校 PTA 連合大会群馬大会表彰	平 2	4. 1	農業経済科新設
平 11	2	千葉県学校教育功労者(団体の部)表彰	平 4	8. 1	創立 70 周年記念式典举行
平 14	4. 30	創立 80 周年記念講演 「伝統と躰〜良い国際人となるために〜」林 進氏(高校 2 回卒)	平 5	4. 1	食品調理科新設
平 24	4. 1	学校運営協議会の設置校 (コミュニティ・スクール)として指定をうける	平 9	4. 1	生産技術科新設
平 26	4. 1	医療・福祉コース設置	平 14	11. 8	創立 80 周年記念式典举行
平 27	4. 1	介護職員初任者研修実施	平 16	4. 1	千葉県立安房拓心高等学校と校名変更
	9. 1	医療・福祉コース支援のための連携協定を亀田総合病院、亀田医療大学及び社会福祉法人太陽会と結ぶ	平 17	4. 1	生産技術科、農業工学科、農業経済科、食品調理科を廃し、総合学科新設
			平 23	11. 10	千葉県教育委員会平成 23 年度教育功労者(学校教育の部)受賞
			平 24	2. 6	千葉県教育委員会平成 23 年度魅力ある学校づくり大正教育長賞受賞

安房			館山総合		
明 33	5	千葉県、安房中学校設置の旨告示	大 11	2. 15	安房郡立農業水産学校創立許可
明 34	4. 8	安房郡議事堂を仮校舎にあて授業開始	大 12	4. 27	千葉県立安房水産学校設立 ※後の県立安房水産高等学校
明 35	5. 25	校舎落成式を挙げる。 この日を創立記念日と定める。	大 15	3. 22	千葉県北条町立実科女学校設置認可
昭 6	5. 31	校舎新築落成、30周年記念式典		4. 25	開校式 ※後の県立館山高等学校
昭 23	4. 1	学制改革により高等学校に改編 千葉県立安房高等学校と改称	平 19	10. 19	県立館山高等学校と県立安房水産高等学校の統合が決定
昭 25	4. 1	県立鋸南農業高等学校を統合し、 千葉県立安房第一高等学校と改称	平 20	4. 1	統合により千葉県立館山総合高等学校を開校 旧館山高等学校の校舎を本校舎 旧安房水産高等学校の校舎を水産校舎として併用
昭 26	4. 1	平群分校(定時制農業科)創設 ※昭 38.4 県立安房農業高等学校に移管			
昭 27	10. 13	女子制服決定			
昭 28	1. 31	新校歌発表、新校旗入魂式	平 22	10. 30	新校歌披露式
昭 36	4. 1	千葉県立安房高等学校と改称	平 24	10. 2	スクールカラー「青」に決定
昭 39	4. 1	頭髮の自由化(男子長髪の許可)	平 29	4. 1	面接指導等に係る通信制協力校の指定 水産校舎を使用
昭 45	4	制帽の着用自由に		7. 10	東京海洋大学海洋生命科学部・海洋資源環境学部との高大連携協定を締結
昭 56	4. 1	新校舎落成式典挙る			
昭 57	10. 25	創立 80 周年記念市木点挙る			
平 3	11. 22	創立 90 周年記念式典挙る			
平 6	4. 1	英語科新設	平 30	5. 25	文部科学省より平成 30 年度から令和 2 年度まで「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール」に指定
平 11	4	2 学期制が始まる		6. 28	平成 30 年度から令和 3 年度まで敬愛大学 千葉敬愛短期大学 館山市との連携教育に関する協定を締結
平 13	10. 27	創立 100 周年記念式典挙る		10. 3	創立 10 周年記念式典
平 18	4. 1	女子新制服決定			
平 20	4. 1	安房南高等学校と統合			
平 25	4. 1	英語科募集停止			
平 26	3. 27	高大連携(千葉大学)			
平 28	11. 1	高大連携(敬愛大学)			
平 30	1. 12	高大連携(聖徳大学)			
	4. 1	単位制導入			
令 3	6. 24	高大連携(台湾 5 大学)			
	10. 20	高大連携(沖縄大学)			

出典：各学校の令和 4 年度学校要覧より抜粋

オ 募集学級数の推移

課程	学校名	学科名	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	
全日制	長狭	普通	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	安房拓心	総合学科	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	
	安房	普通	7	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	館山総合	工業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		商業	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
		海洋	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1
		家政	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
合計			20	19	19	19	19	19	19	18	18	18	
定時制	長狭	普通	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	館山総合	普通	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	合計			2	2	2	2	2	2	2	2	2	

※安房はH20年度に安房南と統合した。

※館山総合はH20年度に館山と安房水産を統合して設立した学校である。

(3) 入試の状況

課程	学校	学科名	令和2年度入学者選抜						令和3年度入学者選抜						令和4年度入学者選抜					
			定員	予定(募集)人員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	募集人員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率	定員	募集人員	志願者数	倍率	許可候補者数	充足率
全日制	長狭	普通	160	96 (64)	133 38	1.4 0.6	134	84%	160	160	146	0.9	151	94%	160	160	110	0.7	109	68%
	安房拓心	総合学科	160	160 (34)	127 1	0.8 0.0	127	79%	160	160	154	1.0	155	97%	160	160	128	0.8	129	81%
	安房	普通	240	144 (101)	229 89	1.6 0.9	229	95%	240	240	257	1.1	241	100%	240	240	243	1.0	240	100%
	館山総合	工業	40	30 (24)	16 0	0.5 0.0	16	40%	40	40	27	0.7	27	68%	40	40	14	0.4	14	35%
		商業	40	30 (10)	38 8	1.3 0.8	38	95%	40	40	33	0.8	33	83%	40	40	28	0.7	28	70%
		海洋	80	40 (61)	19 0	0.5 0.0	19	24%	40	40	19	0.5	17	43%	40	40	17	0.4	18	45%
		家政	40	30 (12)	28 1	0.9 0.1	29	73%	40	40	26	0.7	26	65%	40	40	23	0.6	23	58%
定時制	長狭	普通	40	24 (38)	2 0	0.1 0.0	2	5%	40	40	3	0.1	3	8%	40	40	2	0.1	2	5%
	館山総合	普通	40	24 (33)	7 0	0.3 0.0	7	18%	40	40	1	0.0	1	3%	40	40	3	0.1	4	10%

1. 定員：第1学年募集定員(40名×募集学級数)
2. 各学科の上段：令和2年度以前は前期選抜、令和3年度以降は一般選抜
3. 各学科の下段：令和2年度以前は後期選抜、令和3年度以降は一般選抜に一本化したため、なし
4. 予定人員：令和2年度以前の前期選抜の枠であり、県が作成する入学者選抜実施要項で示された範囲内で、学校・学科ごとに定めるものである
5. 募集人員：令和2年度以前の後期選抜の枠であり、募集定員から前期選抜等により入学許可候補者に内定した者のうち、入学確約書を提出した者の数を減じた人数である
6. 許可候補者数：前期選抜、後期選抜、一般選抜、2次募集(定員を満たさなかった場合に行われる選抜)等で入学許可候補者となった者の数である
7. 充足率：定員に対する入学許可候補者数であり、 $\text{入学許可候補者数} \div \text{定員} \times 100$ で算出した

(4) 進路の状況

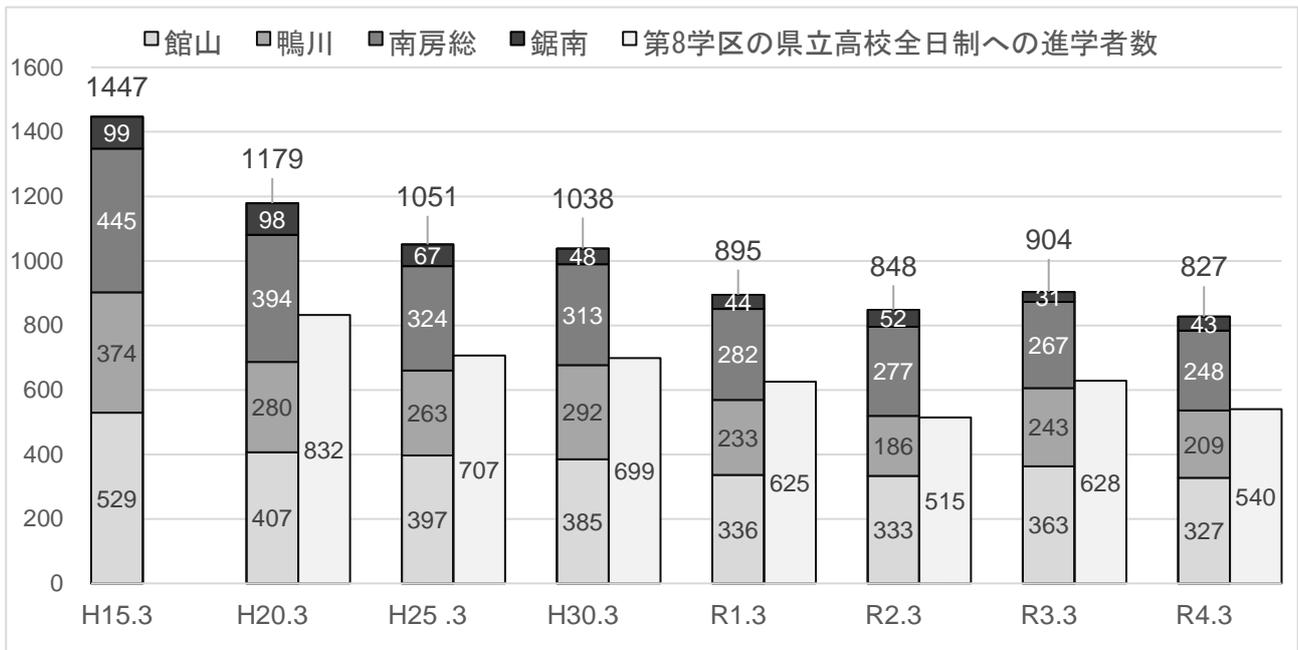
学 校 名	長 狭 【全 日 制】	安 房 拓 心	安 房	館 山 総 合 【全 日 制】	長 狭 【定 時 制】	館 山 総 合 【定 時 制】
大学進学	63	9	161	16	1	0
(うち4年大)	53	8	153	10	1	0
専修学校	42	39	32	25	2	0
職業能力校	0	0	0	0	0	0
就職	29	93	19	60	2	7
その他	5	2	12	4	3	1
卒業生計	139	143	224	105	8	8

出典：令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて算出

2 安房地区の現状と今後の見通し

(1) 地区の中学校卒業生の進路状況等

ア 地区の公立中学校卒業生と、第8学区の県立高校全日制への進学者数の推移



	H15.3	H20.3	H25.3	H30.3	R1.3	R2.3	R3.3	R4.3
館山市	529	407	397	385	336	333	363	327
鴨川市	374	280	263	292	233	186	243	209
南房総市	445	394	324	313	282	277	267	248
鋸南町	99	98	67	48	44	52	31	43
合計	1,447	1,179	1,051	1,038	895	848	904	827
進学者		832	707	699	625	515	628	540

※H15.3の南房総市は富浦町、富山村、三芳村、白浜町、千倉町、丸山町、和田町の合計である。また、鴨川市には天津小湊町を含む。なお、進学者数はデータが存在しないため、掲載していない。

出典：中学校卒業生数は令和4年12月公表の学校基本調査（文部科学省）より、進学者数は、進路状況調査を基に教育政策課にて算出。ともに公立中学校からの卒業生、進学者の数である。

イ 地区内の公立中学校別卒業生（令和4年3月）

館山市	鴨川市	南房総市	鋸南町
第一中 67	長狭中 24	富浦中 41	鋸南中 43
房南中 21	安房東中 24	富山中 42	
館山中 241	鴨川中 162	三芳中 28	
計 329	計 210	白浜中 16	
		千倉中 56	
		嶺南中 70	
		計 253	

出典:教育政策課調べ

令和4年6月時点の数値であるので、p.6における中学校卒業生数とは数が異なることがある。

ウ 自治体別 公立中学校卒業生の進路先

①館山市

中学校卒業生の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	304	92.4%
公立	236	71.7%
私立	68	20.7%
高校【定時制】	2	0.6%
高校【通信制】	11	3.3%
高等専門学校	3	0.9%
特別支援学校	2	0.6%
県外へ進学	5	1.5%
進学以外	2	0.6%
合計	329	100.0%

全日制公立高校進学者 236名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	0	0.0%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	0	0.0%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	0	0.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	231	97.9%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	5	2.1%
合計		236	100.0%

②鴨川市

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	186	88.6%
公立	138	65.7%
私立	48	22.9%
高校【定時制】	3	1.4%
高校【通信制】	7	3.3%
高等専門学校	3	1.4%
特別支援学校	6	2.9%
県外へ進学	4	1.9%
進学以外	1	0.5%
合計	210	100.0%

全日制公立高校進学者 **138** 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	1	0.7%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	0	0.0%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	1	0.7%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	4	2.9%
第8学区	鴨川、南房総、館山	130	94.2%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	2	1.4%
合計		138	100.0%

③南房総市

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	233	92.1%
公立	166	65.6%
私立	67	26.5%
高校【定時制】	1	0.4%
高校【通信制】	1	0.4%
高等専門学校	4	1.6%
特別支援学校	3	1.2%
県外へ進学	6	2.4%
進学以外	5	2.0%
合計	253	100.0%

全日制公立高校進学者 **166** 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	1	0.6%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	1	0.6%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	0	0.0%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	0	0.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	158	95.2%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	6	3.6%
合計		166	100.0%

④鋸南町

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	40	93.0%
公立	32	74.4%
私立	8	18.6%
高校【定時制】	0	0.0%
高校【通信制】	2	4.7%
高等専門学校	0	0.0%
特別支援学校	0	0.0%
県外へ進学	1	2.3%
進学以外	0	0.0%
合計	43	100.0%

全日制公立高校進学者 32 名の進学先学区の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	0	0.0%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	0	0.0%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	0	0.0%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	0	0.0%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	0	0.0%
第8学区	鴨川、南房総、館山	20	62.5%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	12	37.5%
合計		32	100.0%

⑤地区全体

中学校卒業者の進路先

進路先	人数	割合
高校【全日制】	763	91.4%
公立	572	68.5%
私立	191	22.9%
高校【定時制】	6	0.7%
高校【通信制】	21	2.5%
高等専門学校	10	1.2%
特別支援学校	11	1.3%
県外へ進学	16	1.9%
進学以外	8	1.0%
合計	835	100.0%

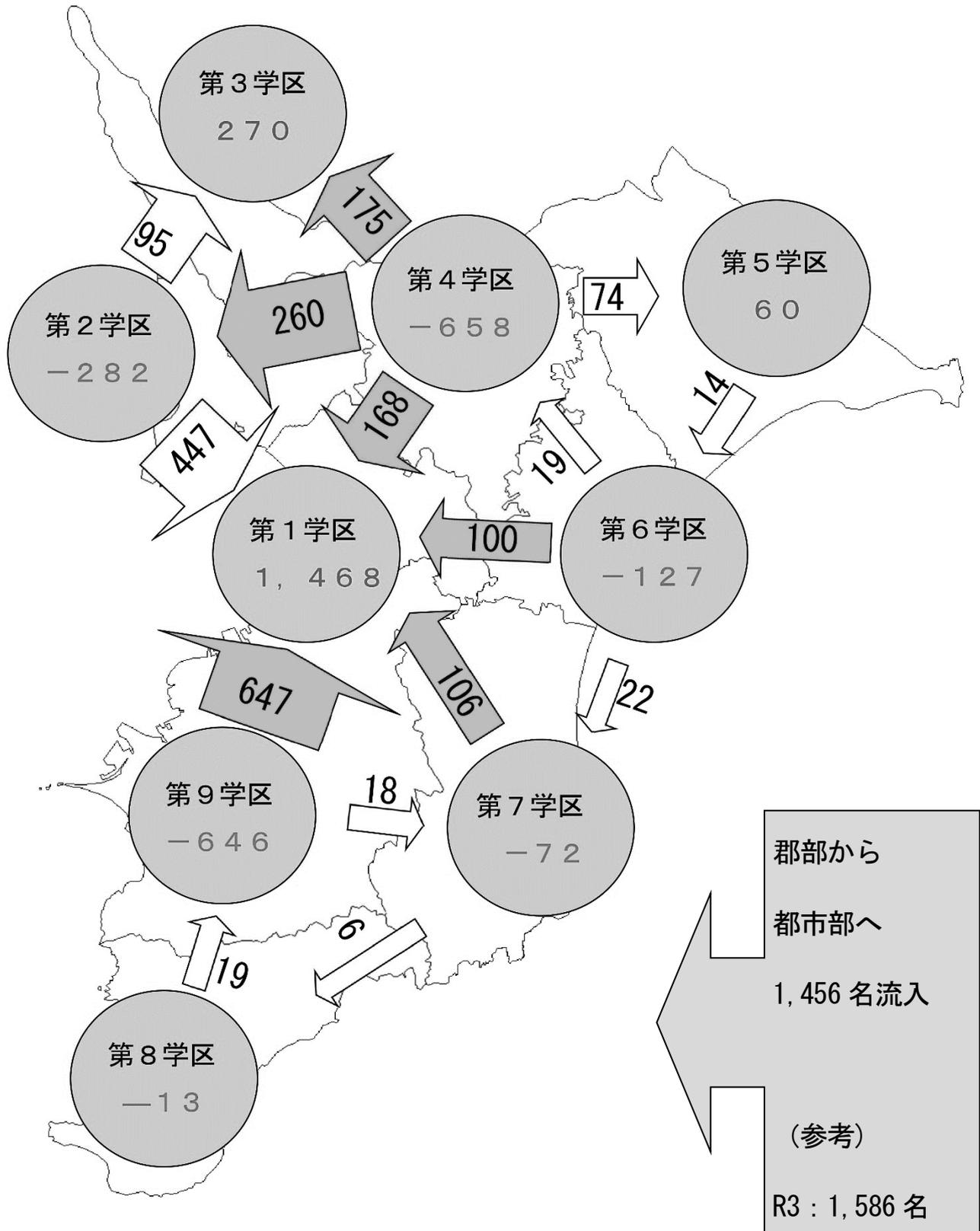
全日制公立高校進学者 572 名の進学先地域の内訳

学区	公立高校所在市町	進学者	割合
第1学区	千葉	2	0.3%
第2学区	八千代、習志野、船橋、市川、浦安、松戸	1	0.2%
第3学区	鎌ヶ谷、柏、流山、野田、我孫子	0	0.0%
第4学区	白井、印西、成田、富里、佐倉、八街、四街道	0	0.0%
第5学区	香取、多古、銚子、旭、匝瑳	1	0.2%
第6学区	山武、東金、大網白里、九十九里	0	0.0%
第7学区	茂原、一宮、大多喜、いすみ	4	0.7%
第8学区	鴨川、南房総、館山	539	94.2%
第9学区	富津、木更津、君津、袖ヶ浦、市原	25	4.4%
合計		572	100.0%

出典:令和4年度進路状況調査を基に教育政策課にて作成

令和4年6月時点の数値であるので、p.10における中学校卒業生数とは数が異なることがある。

エ 生徒の流出入状況（令和4年3月 国公立中学校卒業生）



○県内全日制公立高校について、学区間の生徒の流れを流入と流出の差で示した。
○郡部から都市部への流入については灰色で示している。
出典：教育政策課調べ

(2) 地区の国公立中学校卒業生数の推移と見通し

現在の学年	中3	中2	中1	小6	小5	小4	小3	小2	小1	5歳
卒業年月	R5.3	R6.3	R7.3	R8.3	R9.3	R10.3	R11.3	R12.3	R13.3	R14.3
館山市	328	308	333	311	309	299	254	255	249	218
鴨川市	215	244	200	187	218	179	170	169	153	179
南房総市	262	235	228	233	203	234	216	207	195	185
鋸南町	41	39	37	31	33	35	24	20	23	26
合計	846	826	798	762	763	747	664	651	620	608

出典：学校基本調査（文部科学省）及び千葉県年齢別町丁字別人口調査（千葉県総合企画部統計課）を基に令和4年3月に教育政策課にて作成

